

土居市長殿 豊後竹田駅周辺整備に関する公開質問状

私たち「たけた未来ラボ」（会長・池田重和）は、竹田市の街づくりを考える市民グループです。昨年9月に開催した「城下町まちなかど蚕の市」は、その取り組みの一つです。その際には、ご支援をいただき、ありがとうございました。

さて、現在、豊後竹田駅周辺整備計画が市民の間で大きな話題になっており、さまざまな意見が出ています。2月24日に商工会議所で開かれた説明会では、工藤副市長が「1年間かけて中心市街地をどうするか、皆さんにヒアリング、アンケートする」と説明されました。そこで、今回の整備計画を考えるに当たり、現時点で私たちが知りたいことをお尋ねします。ご多忙のところ、大変恐縮ですが、質問状への回答は、4月14日（火）までにお願いたします。いただいた御回答は、さまざまな方法で市民に広くお知らせする予定です。

質問項目

・今回の豊後竹田駅周辺整備は、竹田市が平成26年度から実施した国の都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金）第1期に次ぐ、第2期の事業という理解でいいですか。

・「十億円かけて駅周辺を整備する」という計画や、完成予想図を初めて知ったという市民が少なくありません。これまでの市民への説明や情報提供が不足しているのではないかと考えますが、今後、どのように市民への理解を進めていくのでしょうか。

・事業費十億円のうち、財政力が極めて乏しい竹田市が五億円を負うことによって、市民生活や福祉サービスなどが低下する恐れはありませんか。

・竹田市の将来の街づくりのためにすべきことはたくさんあると思いますが、竹田駅周辺整備にこだわる理由は何でしょうか。また、駅周辺整備によって、どのような効果が生まれるのか、具体的に教えてください（数字を含めて）。

・今回の完成予想図は、宇佐市の柳ヶ浦駅と瓜二つです。竹田駅の特徴である落門の滝や岩壁、朝倉文夫作の彫刻などを活かすべきと考えますが、今後、市民の声を聞いて練っていくのでしょうか。

・2月24日の説明会で、市側は「現在は基本構想の段階で、これから基本計画をつくる。市としては事業を進めたいが、どこかで判断してもらいたい」と説明しました。最終的な判断までの進め方についてどのようにお考えでしょうか。

令和8年3月31日

以上